

○令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金の各事業についての質問・回答

資料 5

事業の名称	質問	担当課	回答
【No.2】 「しごと」を担い、まちを元気にする 「地域活性化人材」創出事業 (市の単独事業)	阿波おどりににおけるSNS上のネガティブコメントの管理体制はどのようになっているか。	にぎわい交流課	メール、電話等でのお問い合わせに対しては、対応・回答しておりますが、SNS等への口コミ・書き込み等については、SNS取扱いとして原則回答しないこととしております。
	移住者数の推移、または移住推進対策の他県や県内の同等地方都市の成果と比較できるデータがあれば教えていただきたい。	企画政策課	徳島県内市町村の移住者数の推移及び移住定住支援事業の一覧については、県が公表しているデータがあるものの、同等地方都市については、移住者の集計方法等も統一されておらず、比較できるデータはありません。地方都市の移住推進施策としては、総務省が2021年3月に移住定住推進施策事例集を作成し、公表しています。
【No.3】 伝統文化と公民連携で推進！SDGs 未来都市とくしま実現事業 (市の単独事業)	「ひょうたん島周遊船」の電動化事業が延長したということであるが、今年は課題解決して実施できる見込みとなっているのか伺いたい。	企画政策課	令和7年10月の事業完了(運行開始)を目指し、新町川を守る会において、船体の購入、改修を実施予定となっております。
【No.5】 3つの徳島県・地域連携DMOが協働 する観光振興プログラム (県等との共同計画)	ウェブサイトのアクセス数は増えているが、それがどれくらい実際の観光人口となっているのか伺いたい。	にぎわい交流課	徳島市広域観光案内ステーションの来場者数は増加しており、R6は9,688人で前年度比7.4%増加している状況です。
	インバウンド向けの案内はどのくらい充実しているのか伺いたい。他県に比べてインバウンドの観光客を見かけることが少ないように感じる。	にぎわい交流課	徳島市広域観光案内ステーションにおいて、英語が話せる人材や英語、繁体語のパンフレットを配置しております。 また、阿波おどり会館における外国人の入館者数は年々増加しており、R6は35,397人で前年度比30%増となっております。
【No.7】 社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略 (県等との共同計画)	既存の壁紙との単価比較を行ったか伺いたい。	農林水産課	既存の壁紙との単価比較を行っております。藍茎和紙の壁紙は、既存の壁紙価格を基準とし、藍の手作業による染色や和紙づくりにかかる経費等を反映した価格設定としております。
	コンサルなどの専門家からの助言があるかなども含め、販売戦略についてどのように支援がなされているのか伺いたい。	農林水産課	令和6年度は、専門家との個別相談会、成約率を高めるための商談セミナー、首都圏の大手バイヤーとつながる商談会への参加支援等を実施しました。 令和7年度からは、専門家への無料相談の機会を設け、六次産業化に関する相談会や商談会対策セミナー、実際の商談会、さらにはその後のフォローアップまで、総合的な支援を行うこととしております。
【No.8】 LINEによる行政サービス拡張事業	Facebookで徳島市地域おこしのアカウントがあるが、管理者は民間人か。市との関連は有るか伺いたい。	経済政策課	アカウントは、隊員本人のものであり、管理者も本人となっております。ただし、本市と委託契約を締結している隊員であり、適宜、確認していく必要があると考えております。
	市民からの災害情報の実装の必要性が低いとの判断であるが、LINE以外の方法で市民からの災害情報を集めることを実施または検討しているのか伺いたい。	危機管理課	手軽さ、即時性などの面から、SNSなどのコミュニケーションツールを検討しましたが、誤情報や情報量の少なさ等の問題点から、必要性は低いと判断したところであり、それ以外の方法については、現在検討しておりません。